

経営体育成支援事業目標達成状況報告書（2年度目）

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	函館市	市内全域	平成28年度	平成30年度	函館市

I 地区の成果目標

(単位：経営体、%)

項 目	目標 達成状況（上段：計画、下段：実績）			2年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
① 経営面積の拡大	1 1	1 0	1	0.0%
② 耕作放棄地の解消				
③ 農業の6次産業化				
④ 農産物の高付加価値化				
⑤ 農業経営の複合化				
⑥ 農業経営の法人化				
⑦ 雇用				

II 経営体の成果目標

No	項 目	現状	目標 達成状況（上段：計画、下段：実績）			2年度目 達成状況 (%)
			1年度目	2年度目	3年度目	
1	経営面積の拡大	3.2ha	4.2ha 6.15ha	10.0ha 6.15ha	10.0ha	61.5%

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

2年度目の経営規模拡大は出し手農家から賃借ができなかったことから、今後は関係機関等と連携を図り、目標を達成することとする。

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	函館市	市内全域	平成28年度	平成30年度	函館市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1	経営面積の拡大	集約化できる条件の良い農地が少なかったこと、また、出し手農家との条件が合わなかったため。	農業委員会等関係機関へ相談し、平成30年度に目標達成する。

II 地区の成果目標（必須目標）ごとの未達成理由等

成果目標項目（必須目標）	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	目標達成無し（1経営体のうち1経営体未達成）。未達成理由はIと同じ。	同上

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 本市の担い手への農地の集約率は42.5%（H29.1.1現在）で、担い手の高齢化による経営の縮小、耕作農地の分散化等の課題がある。今後は、農地中間管理機構等を活用し、担い手への集積を進めていく。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 担い手の高齢化が進んできており、地域にあるべき中心経営体をフォローアップしていく必要があるが、地区全体のコンセンサスが十分にまとまっていないことから、中心経営体の育成、法人化等に向けて様々な検討を図る。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 話し合いの場への参加が消極的なことから、農業経営等にかかわる制度説明等を合わせて開催し、生産者が参加しやすくなるような会議体となるよう見直しを図る。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成者には引き続きフォローアップし、経営面積拡大に向け関係機関等との連携を図るよう促していく。</p>
